

各 位

会 社 名 田中商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長鳥谷部 毅
 (コード：7619 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 山口 智
 (TEL. 03-3765-5211)

(訂正・数値データ訂正)
 「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年5月12日に開示いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容について一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データ(XBRL)も送信いたします。

訂正箇所には下線 を付しております。

記

1. 訂正の理由

当連結会計年度の連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書において修正すべき箇所があったこと並びに記載内容に誤りがありましたので、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

○サマリー情報

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

【訂正前】

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	<u>563</u>	<u>△140</u>	21	2,746
2022年3月期	1,089	△78	△656	2,301

【訂正後】

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	<u>616</u>	<u>△192</u>	21	2,746
2022年3月期	1,089	△78	△656	2,301

○添付資料 2ページ

【訂正前】

(3)当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて444,701千円増加し、2,746,615千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の増加、棚卸資産の増加、固定資産売却益等があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加等により563,874千円(前年同期に得られた資金は1,089,788千円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形無形固定資産の売却、関係会社の整理による収入があったものの、有形無形固定資産の取得、関係会社株式の取得による支出等により140,214千円(前年同期に使用した資金は78,453千円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、配当金の支払いがあったものの、短期借入金の調達等により21,041千円(前年同期に使用した資金は656,738千円)となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	46.3	49.0	50.9	50.5	<u>49.1</u>
時価ベースの自己資本比率(%)	21.7	23.5	24.8	21.8	19.5
キャッシュフロー対有利子負債比率(年)	4.3	11.4	3.7	3.6	<u>7.4</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	86.4	32.1	94.9	96.1	<u>51.6</u>

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

【訂正後】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて444,701千円増加し、2,746,615千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の増加、棚卸資産の増加、固定資産売却益等があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加等により616,439千円(前年同期に得られた資金は1,089,788千円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形無形固定資産の売却、関係会社の整理による収入があったものの、有形無形固定資産の取得、関係会社株式の取得による支出等により192,778千円(前年同期に使用した資金は78,453千円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、配当金の支払いがあったものの、短期借入金の調達等により21,041千円(前年同期に使用した資金は656,738千円)となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	46.3	49.0	50.9	50.5	<u>49.0</u>
時価ベースの自己資本比率(%)	21.7	23.5	24.8	21.8	19.5
キャッシュフロー対有利子負債比率(年)	4.3	11.4	3.7	3.6	<u>6.8</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	86.4	32.1	94.9	96.1	<u>56.4</u>

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

【訂正前】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,301,913	2,746,615
受取手形、売掛金及び契約資産	7,712,775	8,768,679
電子記録債権	603,909	758,532
商品及び製品	2,503,494	2,826,333
原材料及び貯蔵品	7,790	7,694
その他	222,674	274,131
貸倒引当金	△2,512	△8,716
流動資産合計	13,350,046	15,373,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,551,246	7,046,003
減価償却累計額	△4,001,669	△4,032,130
建物及び構築物(純額)	2,549,576	3,013,873
土地	7,455,881	7,253,716
その他	1,106,333	1,042,145
減価償却累計額	△702,224	△769,518
その他(純額)	404,109	272,627
有形固定資産合計	10,409,567	10,540,216

【訂正後】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,301,913	2,746,615
受取手形、売掛金及び契約資産	7,712,775	8,768,679
電子記録債権	603,909	758,532
商品及び製品	2,503,494	2,826,333
原材料及び貯蔵品	7,790	7,694
その他	222,674	274,131
貸倒引当金	△2,512	△8,716
流動資産合計	13,350,046	15,373,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,551,246	7,046,003
減価償却累計額	△4,001,669	△4,032,130
建物及び構築物(純額)	2,549,576	3,013,873
土地	7,455,881	7,253,716
その他	1,106,333	971,930
減価償却累計額	△702,224	△699,303
その他(純額)	404,109	272,627
有形固定資産合計	10,409,567	10,540,216

【訂正前】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,070,861	1,339,774
減価償却費	260,531	256,176
減損損失	—	110,690
のれん償却額	39,967	39,967
株式報酬費用	—	4,436
子会社整理損	—	69,866
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,086	11,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,987	46,519
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	104,067	115,068
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	49,700	△700
受取利息及び受取配当金	△2,269	△3,675
支払利息	11,343	10,940
固定資産除売却損益(△は益)	△3,454	△486,093
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15,920
売上債権の増減額(△は増加)	413,892	△1,216,118
棚卸資産の増減額(△は増加)	△755,637	△322,742
差入保証金の増減額(△は増加)	△1,107	1,123
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,817	21,866
仕入債務の増減額(△は減少)	270,825	903,568
その他の負債の増減額(△は減少)	64,945	152,188
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,720	24,683
小計	1,497,029	1,063,485
利息及び配当金の受取額	2,269	3,675
利息の支払額	△11,342	△10,937
法人税等の支払額	△398,168	△492,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,089,788	563,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△97,140	△848,121
有形及び無形固定資産の売却による収入	8,285	838,230
固定資産の除却による支出	—	△14,660
投資有価証券の売却による収入	201	22,300
関係会社株式の取得による支出	—	△308,350
関係会社の整理による収入	—	121,821
貸付けによる支出	△188	—
貸付金の回収による収入	467	358
その他の支出	△9,773	45,413
その他の収入	19,694	2,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,453	△140,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	300,000
長期借入れによる収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△96,676	△32,776
社債の償還による支出	△7,200	△7,200
リース債務の返済による支出	△37,507	△28,015
自己株式の取得による支出	△254,265	△70
配当金の支払額	△191,089	△210,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△656,738	21,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	354,596	444,701
現金及び現金同等物の期首残高	1,947,317	2,301,913
現金及び現金同等物の期末残高	2,301,913	2,746,615

【訂正後】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,070,861	1,339,774
減価償却費	260,531	256,176
減損損失	—	110,690
のれん償却額	39,967	39,967
株式報酬費用	—	17,745
子会社整理損	—	69,866
貸倒損失	—	48,600
訴訟和解金	—	11,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,086	11,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,987	46,519
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	104,067	115,068
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	49,700	△700
受取利息及び受取配当金	△2,269	△3,675
支払利息	11,343	10,940
固定資産除売却損益(△は益)	△3,454	△486,093
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15,920
売上債権の増減額(△は増加)	413,892	△1,216,118
棚卸資産の増減額(△は増加)	△755,637	△322,742
差入保証金の増減額(△は増加)	△1,107	1,123
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,817	8,557
仕入債務の増減額(△は減少)	270,825	903,568
その他の負債の増減額(△は減少)	64,945	156,152
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,720	24,683
小計	1,497,029	1,127,049
利息及び配当金の受取額	2,269	3,675
利息の支払額	△11,342	△10,937
訴訟和解金の支払額	—	△11,000
法人税等の支払額	△398,168	△492,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,089,788	616,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△97,140	△847,167
有形及び無形固定資産の売却による収入	8,285	838,230
固定資産の除却による支出	—	△14,660
投資有価証券の売却による収入	201	22,300
関係会社株式の取得による支出	—	△308,350
関係会社の整理による収入	—	121,821
貸付けによる支出	△188	—
貸付金の回収による収入	467	358
その他の支出	△9,773	△8,105
その他の収入	19,694	2,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,453	△192,778
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	300,000
長期借入れによる収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△96,676	△32,776
社債の償還による支出	△7,200	△7,200
リース債務の返済による支出	△37,507	△28,015
自己株式の取得による支出	△254,265	△70
配当金の支払額	△191,089	△210,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△656,738	21,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	354,596	444,701
現金及び現金同等物の期首残高	1,947,317	2,301,913
現金及び現金同等物の期末残高	2,301,913	2,746,615

○添付資料 12ページ

【訂正前】

(セグメント情報等)

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【訂正後】

(セグメント情報等)

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、電設資材卸売業以外のセグメントの重要性が乏しいため、報告セグメントごとの固定資産の減損損失については、記載を省略しております。

以 上